



- ・上ノ国町は、江差と木古内を結ぶ路線バスを軸とし、それと接続するように小砂子と江差間を縦貫する小砂子線が地域交通として利用されてきた。
- しかし、利用者の減少に伴い、小砂子線は令和7年9月で廃止となった。利用者は少なくなってきたとはいえ、高齢者、学生、自家用車が利用できない町民にとって代替交通の整備は必須と考え、継続的に協議を重ねた結果、デマンド型の区域交通（カミGO!）を導入することとなった。令和7年10月より試験導入を行い、本格化に向けたデータ収集を行ってきた。
- 本事業により、デマンド交通を町内に本格導入し、町外の停留所として江差ターミナルを設け、ドアツードアの運行を可能にし、更にそこから広域移動の促進も図ることで、町内の持続可能な交通網として確保維持を図る。
- ・上記に加え、乗り方ガイド（予約方法の案内付）を作成し全戸配布を行い、利便性の高い交通網の構築を目指す。

事業の内容

事業Ⅰ 町内公共交通の見直し

- 自家用有償旅客運送の新規導入（イ（3））

- ・上ノ国市街地にデマンド型の新交通導入

運行日時：午前7時～午後6時

運行区域：上ノ国町全域および江差ターミナル

※江差ターミナルでの乗降は上ノ国町民、上ノ国町の来訪者/滞在者に限る

予約方法：電話/スマートフォン/LINE

- ・AI活用型オンデマンドシステムを導入し、運行管理（予約受付/配車/ルート設定等）を行う。システムの活用により、限られたリソースを効率よく運行する。

関連事業 町民の公共交通利用への意識変容を促す取組

- 乗り方ガイドの作成/配布
カミGO!の予約方法や運行イメージをわかりやすくまとめたチラシを全戸に配布し利便性の向上を図る
- キャッシュレス決済の導入

【上ノ国町交通網概要図】



作成自治体	上ノ国町
事業実施区域	上ノ国町
事業実施予定期間	令和8年4月～令和12年3月
実施事業者	上ノ国町

デマンドは町全域で乗降可

カミGO! 運行車両



事業の効果

事業Ⅰ

従来の定時定路線型（小砂子線）では出来なかった細かな移動需要に対応できる。特に海側の町民にとって、自宅から目的地までドアツードアの移動が可能となり、通院/買い物の利便性が大幅に向上。

関連事業

- デマンド交通が初めての人や高齢者でも安心して利用できるようになり、利用者数の増加と満足度の向上に寄与
- 現金を持ち歩く必要がなくなり、高齢者や観光客の利便性が向上。決済データの自動収集により、利用実態の詳細な把握が可能

